

# 平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 松ヶ江南 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

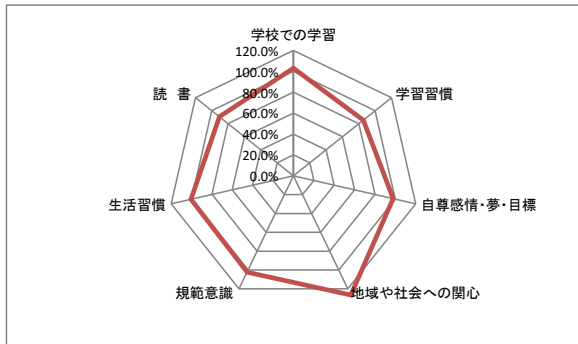
#### (1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.1	65	9.0	64
全国	8.9	64	9.3	67

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均正答率をわずかに下回っているが、ほぼ同等である。</li> <li>・無回答率は、全国平均より低い。</li> <li>・「話すこと聞くこと」については、全国平均を上回っている。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと聞くこと」「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」は、全国平均を上回っている。</li> </ul>	
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる」問題は、全国平均を下回っている。</li> </ul>	
算数	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量と測定、図形領域に課題はあるが、数量関係領域は全国平均を上回っている。</li> <li>・数学的な考え方や数量や図形についての知識・理解については、やや課題があるが、数量や図形についての技能については、全国平均を上回っている。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする問題では、全国平均を大きく上回っている。</li> </ul>	
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「減法の式が示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く」は、全国平均を下回っている。</li> </ul>	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
○「地域社会への関心」「学校での学習」「規範意識」「生活習慣」の順に全国平均値を上回っており、特に、「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」では、全国平均値を大きく上回っている。 ◇「自尊感情・夢・目標」についての質問では、ほぼ全国平均並みであるが、夢や目標についての項目では、全国平均値よりやや低い傾向にある。 ▽「学習習慣」「読書」に関する質問では、全国平均値をかなり下回っている。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・「わかる授業づくり5つのポイント」を主題研修に位置付け、ユニバーサルデザインの視点からのどの子にもわかりやすい授業づくりに取り組んでいる。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習に対する課題を受け、業間学習と家庭学習の連携を図ることで、基礎的・基本的学習内容の定着を図るとともに、学習習慣の確立に取り組んでいる。